

授業科目	こども音楽療育実習				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	CH31418J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	末成 妙子、藤田 稔子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として聾学校および総合支援学校で音楽科を担当してきた経験を活かし、実際に障害のある子どもたちと触れ合いながら「こども音楽療育概論」「こども音楽療育演習」を踏まえた実習をおこなう科目です。学外の施設において、乳幼児や障がい児達との療育的音楽活動展開し、そのことを通して、今までの机上の学修、学内での実技演習をより実践的な知識および技術を深めることにつなげていきます。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象児の理解が深まる 2. 実習を通して、療育的音楽活動の効果が実感できる 3. 実習を通して、実際の療育的音楽活動が実施できる 4. 自身の療育的音楽活動の振り返りができ、より対象児に合った療育の在り方を考察できる 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	40	20	40	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)					20		20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				20		20	40	
技能・表現 (DP5-3)				20		20	40	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベル 1～4 の全てを達成したうえで、自分で更に調べ学習等で内容を深め、詳細かつ丁寧に説明ができる。また、これらのことを机上の学修に留めず、実践を繰り返す毎に技術が磨きあげられている。				<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象児(実際に自分がかかわった児)について、療育のニーズも含め、説明ができる 2. 療育的音楽活動を展開することによって、対象児の変化を捉えることができ、実習記録に記載できる 3. 療育的音楽活動を対象児のニーズに即した内容で実施できる 4. 自身の療育的音楽活動を考察でき、実習報告会で発表ができる 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション(末成妙子・藤田稔子) 授業の進め方および実習について説明し、実習に向けての準備を始める	オリエンテーション 講義	予習:シラバスを読むこと 復習:実習に向けての課題を明らかにする	10 10
2	テーマ:こども音楽療育の基本(末成妙子) 「こども音楽療育概論」「こども音楽療育演習」の学びを振り返り、実習で必要なエッセンスを抽出する	演習	予習:「こども音楽療育概論」「こども音楽療育演習」を復習 復習:学修が足りていない部分を補う	30 30
3	テーマ:音楽療育実践をおこなう施設の見学①保育所(末成妙子・藤田稔子) 実際に実習させていただき施設に訪問し、実習先の保育方針や園児たちと触れ合う中での対象理解を深める	学外実習	予習:実習先のホームページを見てくる 復習:実習の振り返りをし、実習日誌の課題をする	30 30
4	テーマ:音楽療育実習(保育所)の実践計画の立案(末成妙子・藤田稔子) 施設見学を踏まえ、実践計画2回分の計画を立案し、それに向けたスケジュールを立てる	演習(GW)	予習:活動計画立案のために必要な資料を集める 復習:活動計画を仕上げる	30 30
5	テーマ:音楽療育実践をおこなう施設の見学②特別支援学校(末成妙子・藤田稔子) 実際に実習させていただき施設に訪問し、実習先の教育方針や児童たちへの理解を深める	学外実習	予習:実習先のホームページを見てくる 復習:実習の振り返りをし、実習日誌の課題をする	30 30
6	テーマ:音楽療育実習(保育所)の実践計画の立案(末成妙子・藤田稔子) 施設見学を踏まえ、クリスマスコンサートの計画を立案し、それに向けたスケジュールを立てる	演習(GW)	予習:活動計画立案のために必要な資料を集める 復習:活動計画を仕上げる	30 30
7	テーマ:音楽療育実習の準備①(末成妙子・藤田稔子) 立案した計画に基づき、準備をすすめます	演習(GW)	予習:実習準備ができるように整えてくる 復習:やり残した作業を継続する	30 30
8	テーマ:音楽療育実習の準備②(末成妙子・藤田稔子) 立案した計画に基づき、準備をすすめます	演習(GW)	予習:実習準備ができるように整えてくる 復習:やり残した作業を継続する	30 30
9	テーマ:音楽療育実践①11月のお楽しみ会(末成妙子・藤田稔子) 保育所で開催される11月のお楽しみ会に参加し、こども音楽療育での学びを活かした的コンサートをおこなう	学外実習	予習:練習を重ねておく 復習:実践を振り返り、実習記録に記載する	30 30
10	テーマ:音楽療育実習の準備③(末成妙子・藤田稔子) 立案した計画に基づき、準備をすすめます	演習(GW)	予習:実習準備ができるように整えてくる 復習:やり残した作業を継続する	30 30
11	テーマ:音楽療育実践②保育所でのクリスマスコンサート(末成妙子・藤田稔子) 保育所で開催される12月のお楽しみ会に参加し、音楽表現的要素を含むクリスマスコンサートをおこなう	学外実習	予習:練習を重ねておく 復習:実践を振り返り、実習記録に記載する	30 30
12	テーマ:音楽療育実践③特別支援学校でのクリスマスコンサート(末成妙子・藤田稔子) 特別支援学校初等部で開催される12月のお楽しみ会に参加し、療育的要素を含むクリスマスコンサートを	学外実習	予習:練習を重ねておく 復習:実践を振り返り、実習記録に記載する	30 30

	おこなう			
13	テーマ:実習事後面談【個別】(末成妙子・藤田稔子) 実習記録を基に、学びと振り返りを個別に面談をすることによって深めていく	個別面談	予習:実習記録を完成させておく 復習:個人面談を踏まえて振り返りをしておく	30 30
14	テーマ:実習振り返り会(末成妙子・藤田稔子) 3回の実践を録画したVTRを共に視聴し、振り返りをおこなうなかで、さらなる各自の課題を発見していきます	演習(GW)	予習:実践を振り返っておく 復習:授業の学びをまとめる	30 30
15	テーマ:まとめ(末成妙子・藤田稔子) 各々が進む保育現場を見据えて「こども音楽療育士」としての可能性を考察していく	演習(GW)	予習:テーマの内容について考えてくる 復習:自分自身の課題を見出す	30 30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本科目は、実習であるため関連する全ての科目内容の統合です。特に、「こども音楽療育概論」「こども音楽療育演習」「保育内容・表現」「障がい児保育Ⅰ・Ⅱ」「音楽の基礎」「こどものうたあそび」「こどものうたと伴奏法Ⅰ・Ⅱ」は十分復習をしておいてください。			
テキスト	「こども音楽療育概論」および「こども音楽療育演習」で用いた教科書、配布されたプリント			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業で適宜紹介します。			

<p>授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ</p>	<p>音楽、楽器演奏、こどものうた、こどもの実態に関心を寄せ音楽療育的保育のできる保育者としての資質を磨く努力をしてください。</p>
<p>達成度評価に関するコメント</p>	<p>授業への積極的な参加態度</p>